

CRS児と家族の支援、保育や教育現場の職員 の 安全な職場環境づくりのための提案

風疹をなくそうの会『hand in hand』 共同代表
保育士 西村麻依子

<http://stopfuushin.jimdo.com/>



風疹をなくそうの会

自己紹介

-保護者として-



p免疫が不十分なまま、第二子を妊娠中に風疹ウイルスに感染。

p風疹の流行を止め、**CRS**をなくすために、**当事者の立場から**の提案や、同じ立場の人たちを支援する活動を開始。

phand in handの共同代表。

自己紹介

-保育士として-

保育所で働く立場として、風疹をはじめとする感染症について学ぶ機会が不足していたことから、養成課程や職場での学習機会の提供、免疫確認／予防接種の啓発を提案。

厚生労働省の『**麻しん風しん対策推進会議**』の一員として提案を行う。



第一子妊娠中～第二子妊娠まで

- 長男妊娠中に風疹の抗体価が低いといわれていた。※HI法8未満
 - 出産後の入院中に産院でワクチンを打てることを知らなかった。
 - 授乳中はワクチンを打ってはいけないと思い込んでしまっていた。
 - どこで打てばいいのか分からなかった。
- ⇒ 打たないまま第二子妊娠



妊娠・風疹罹患

- 頸部リンパ節膨張を自覚(妊娠6週目?)
- 顔に発疹。→首→腕→全身へ(妊娠7週目)
- 発熱。37.8℃







発疹→

←充血



風疹確定～出産

産婦人科の医師

- 『妊娠8週目までに風疹にかかった場合、80%の確率で目・耳・心臓に障がいの出る確率』→中絶

⇒妊娠の継続を希望。2回転院

兵庫県立こども病院で出産



出産



- 管理入院1ヶ月半
- 胎動がなくなり、緊急帝王切開
- 出生時1582g、40.6cm

※ 1歳10ヶ月現在 8275g、78.5cm



子どもの容態



- 一過性血小板減少
- 動脈管開存症(心臓)
- 脳室拡大⇒発達障害が出る可能性
- 脳一部石灰化
- 角膜混濁
- 軽度難聴疑い(40db)

⇒ほとんどが自然治癒

しかし、いつどんな症状が出てくるかは分からないため、現在も経過観察中。





2013—2014

風疹をなくそうの会 『hand in hand』

活動報告

これまでの取り組み



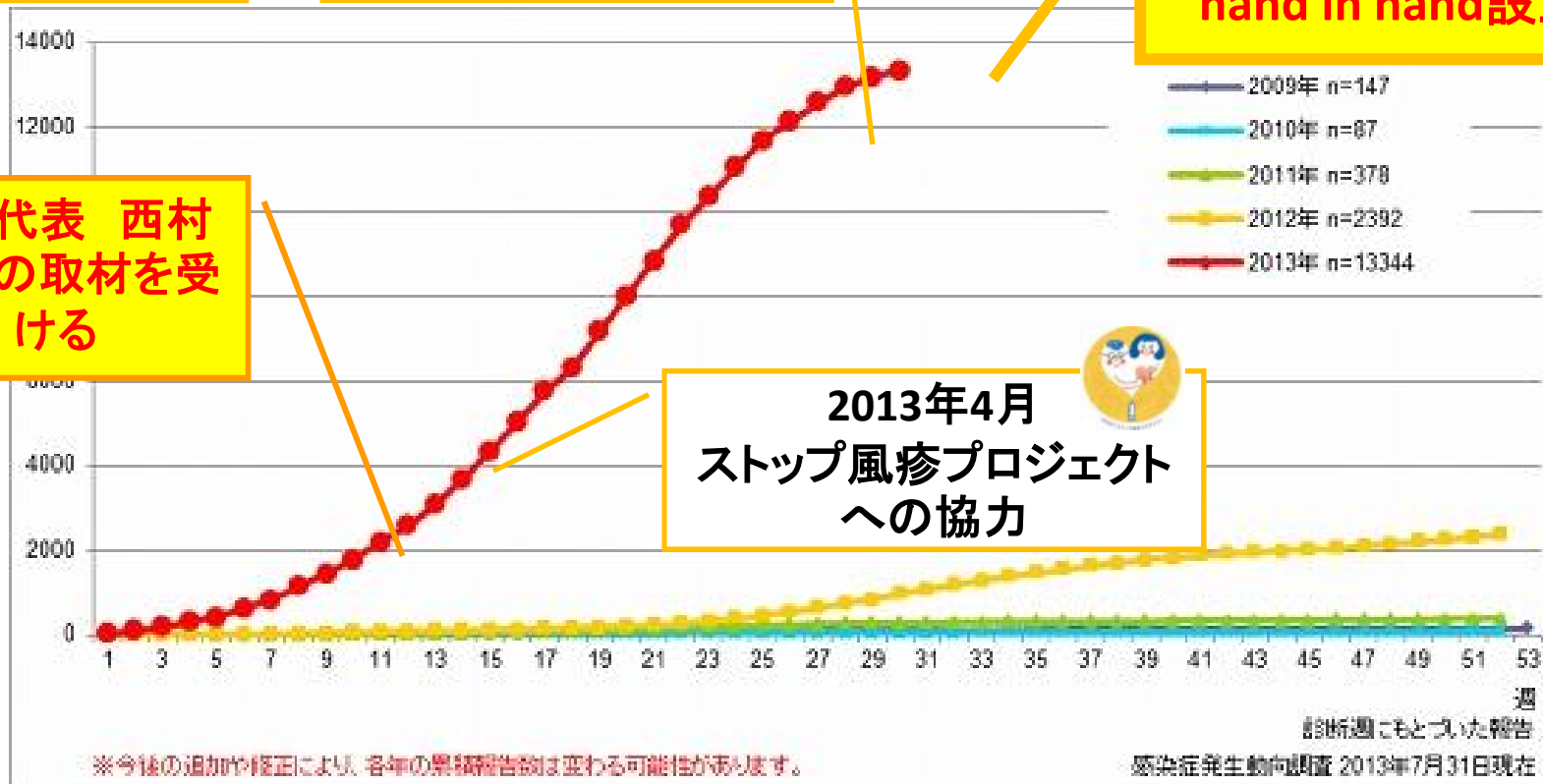
2002年
共同代表 可児ブログ
「カニサンハウス たえ
この部屋」開設

2013年6月
シンポジウムで当事者
として発言

2013年8月
hand in hand設立

共同代表 西村
NHKの取材を受
ける

2013年4月
ストップ風疹プロジェクト
への協力



活動目的は大きく3つ



- ①風疹の流行を繰り返さないためのワクチン接種の啓発活動
- ②先天性風疹症候群(CRS)の情報提供
- ③CRSの家族同士が交流できる場所・機会の提供

メディア取材への協力



- NHK『おはよう日本』・スポット風疹編等へ出演
- 読売新聞をはじめとする全国紙、岐阜新聞・神戸新聞などの地方紙への取材協力
- 各局報道番組へ出演
- ラジオ関西・FMHANAKOへ出演
- フォーマミセス(秋田書店出版・作者 くりた陸)に CRSについての書き下ろし漫画掲載



神戸新聞 2013年7月8日掲載

活動：当事者からの相談への対応・相互支援

- インターネット検索で連絡をしてきた当事者や家族への助言
- 当事者の声をまとめた冊子を作成し、ホームページで公開



活動：当事者としての提言



- ・国や行政による対策や支援の提案



2014年7月25日大臣要請 (3回目)



2013年6月19日大臣要請・記者会見(1回目)

学会など専門家との連携



- 日本 ワクチン学会 学術集会 ブース展示
- 大阪公衆衛生協会 感染症予防部会「感染症予防セミナー」参加
- 日本産婦人科感染症研究会学術集会 ブース展示
- 日本周産期・新生児医学会学術集会 ワークショップにて発表



経験からの行動



- CRS児の小児科等受診・入院拒否された
- 保育園入園を希望した際につまづき→復職が遅れた
- 復職後、ウイルスの感染性について理解が得られず苦労した

- ・支援していただいている専門家の先生に相談。アドバイスを頂き、多くを解決。
- ・専門家の方に相談できていない人もいたのではないかな。

マニュアル・Q&Aが周知されていれば困らずに済んだのではないかな

先天性風疹症候群のQ&Aに関する周知についての 自治体アンケートの実施(2013年11月実施)



回収率

都道府県 100%(47/47)

政令指定都市 88.2%(15/18)

		周知の有無			研修会開催			
		実施した	実施予定	予定なし	開催した	開催予定	予定なし	未定
都道府県	返信47/47	25	3	18	2	6	23	15
	100%	53.2%	6.4%	38.3%	4.3%	12.8%	48.9%	31.9%
政令指定都市	返信15/18	8	2	5	2	1	11	1
	83.3%	53.3%	13.3%	33.3%	13.3%	6.7%	73.3%	6.7%

都道府県では約40%、政令指定都市でも約30%が先天性風疹症候群について関心度が低いと考えられた。

ポスター・パンフレット作成

私たち 風疹をなくそうの会 Hand in hand は 風疹の根絶を訴えます!!

～風疹により苦しむ妊婦さん・お母さん・赤ちゃんを守るために～

不妊治療を終えた方、不妊治療中の方
 赤ちゃんがほしいと、
 赤ちゃんを産んでほしいと、
 風疹のワクチン接種を希望していますか？
 妊婦期に感染してしまうと赤ちゃんに
 先天性風疹症候群（CRS）の原因となり、
 赤ちゃんを守るために、早急にできる
 うちにワクチン接種をしましょう！

産後のケア
 妊婦中感染のワクチン
 接種はできません。まずは家内本人に風疹の
 ワクチン接種をしてください。そして
 できるだけの期間、母乳を飲むのを
 控え、特に妊娠時感染で流行している
 麻疹、流行性腮腺炎、おたふく病などのワクチン
 接種をしましょう。

妊婦中に感染してしまいました
 産婦人科で、今後の対応をすることが
 できます。まずはかかりつけの産婦人科
 に相談の上で治療して下さい。

先天性風疹症候群（CRS）の赤ちゃんの接吻者における感染性

先天性風疹症候群の赤ちゃんの鼻、のど、尿からは、生後数か月にもたつて風疹ウイルスが検出されることがあります。しかし、その赤ちゃんに接触した乳母を有する方々から、感染をしたりすることによって、周囲の人に感染することはほとんどありません。通常の仕事や学校や会合の中で衣服を介して感染することもありません。特に産婦人科、保育所等の児童福祉施設等の職員、学校等の職員の方々など、感染率に日頃接する可能性が高い方々には、正しい感染予防の知識をもって、風しんを予防するワクチン接種の実施などにも率先して取り組むことが大切です。

※国立感染症研究所HPより一部転載

私たちの願い（体験談より）

妊娠と診断があり産婦人科に来院。
 「風疹が幸しれないですね…」と
 という状態で「赤ちゃんはあきらめられ
 ない方がいいですよ」と言われ止めました。

産婦人科の先生方へ…
 ●今、存在するご自身のお子さんの情報
 提供をして下さい。
 ●産後の様子や変化を注意深く観察した
 上でその後の
 相談をさせて下さい。
 ●「産むかどうか」
 の選択をさせて下さい。

産後のケア
 産後や中絶希望情報のために産後
 などで不安な思いを覚悟してしまう方
 々もいます。そういう方たちが一人で
 抱え込まないよう「いつでも相談に
 おいで」などと声をかけてあげて下さい。

**①ウイルス接種があるからと近頃の
 医療機関に診療を断られてしま
 います。**
 ②ウイルス接種があるからと職業等
 の接種記録を預けることができ
 ません。

**▼その他の感染と同じように産婦人科での
 診察を受けることででき
 ないでしょうか。**
 ●産院や病院外などの
 特別検査を検討
 して頂きたい
 でしょうか。

風疹をなくそうの会 Hand in hand

活動内容

●母子生活支援センターの活動として、子育ての不安
 を解消する活動。
 ●子育ての不安を解消するための活動として、子育て
 支援センターへの相談活動。
 ●妊婦や産後、子育て中のママたちのための活動として、子育て
 支援センターへの相談活動。
 ●妊婦や産後、子育て中のママたちのための活動として、子育て
 支援センターへの相談活動。

ポスター

ワクチンを打って社会全体で未来の赤ちゃんを守ろう!
 ～風疹をなくそうの会 Hand in hand とは～

先天性風疹症候群（CRS）で生まれた当事者との声

元々は特定の国や地域に
 限られていた病気が伝染することはあっても、
 病気に罹った母を産み出したお母さんや赤ちゃんが
 風疹によって生まれてくる前に感染してしまっ
 たことで、生まれてくる前に感染してしまっ
 た赤ちゃんは先天性風疹症候群（CRS）に罹患す
 ることになり、一生をかけて抱える大きな病
 気に悩まされることになります。

先天性風疹症候群（CRS）で生まれた当事者です。私
 たちは、未来の子供を守るために、ワクチン接種を
 すすめ、社会全体で未来の赤ちゃんを守ろうと
 活動しています。

風疹をなくそうの会 Hand in hand

お問い合わせ先：
<http://topofushin.jp>
 〒202-8566 東京都武蔵野市大宮 3-1-1
 国立感染症研究所 産後・産前・産中
 感染症相談センター（産科）2階

パンフレット

ブログやHPにも、『妊娠中だけど風疹にかかってしまった。産んで良いのか?』という相談が寄せられている。

そのうちの何人かは、生まれてきたCRS児たちの様子を見て安心し、出産された。

情報提供の大切さを痛感している。

これからの課題



- ① 2020年までに風疹の流行をなくすための対策・啓発の徹底→どうやったら個人個人に訴えていけるか
- ② ハイリスクの職業に対して、VPDに関する情報提供
- ③ 先天性風疹症候群児の追跡調査
 - 具体的なケア・サポート
 - 今あるマニュアルの見直し・改訂

CRS/CRI児と家族の支援、および保育や教育現場の職員の安全な職場環境づくりのために必要な対策の提案

風疹をなくそうの会『hand in hand』 共同代表
保育士 西村麻依子



【提案事項】

1. 今回の風疹流行により増加がみこまれるCRS/CRI児が保育・療育の場で集団生活する際に必要な支援・指針の作成と関係者への啓発
2. 保育及び教育に携わる職員と実習生における、①感染症対策としての予防接種の理解促進、②接種歴・罹患歴の確認・接種勧奨の現状と課題についての実態調査、③実施することの標準化の仕組みづくり

先天性風疹症候群 (congenital rubella syndrome: CRS) 先天性風疹感染 (congenital rubella infection: CRI) とは

妊娠初期に風疹に罹患すると先天性風疹症候群 (congenital rubella syndrome: CRS) を発症することが知られている。

CRS・・・妊娠時の風疹感染が原因で出生時に多彩な先天異常を合併した症候群のこと。

CRI・・・CRIはCRSを含む胎児感染すべてのこと。症状や障害はなくても、ウイルス排泄はある。



風疹流行の影響を受けた子どもへの対応の課題



1. 妊娠中に風疹に罹患した母親から生まれたCRS/CRI児

- 出産・育児に向けての準備
- 定期検診における児の健康チェック
- ウイルス排出を想定した感染予防策

2. 風疹ウイルス感染症状のない母親から生まれたCRS児

- 出生後の異常の早期発見
- 新生児訪問・乳児健診での気づき
ABR(聴カスクリーニング)
- 育児相談での気づき

- 同居家族の免疫確認・ワクチン接種
- 出産後の異常の精査
- 児と保護者への早期の療養支援
- ウイルス排出を想定した感染予防策
→ 定期的な検査

3 妊娠中に風疹ウイルス感染症状のない母親から生まれたCRI児

CRI児は一定数生まれると予想されるが、把握することは不可能。

ウイルス排出を想定した感染予防策は困難。

CRS/CRI児のケアに必要な感染対策



1. 医療機関（出産～退院、眼や耳の手術）

標準予防策＋ひまつ感染予防。個室対応

免疫・接種歴が確認できているスタッフがケアを担当

2. 家庭：日常生活

家族の免疫の確認・ワクチン接種、手洗い

※風疹の免疫のない妊娠初期の女性との接触は避ける

3. 保育所：集団生活

免疫・ワクチン接種歴が確認されているスタッフが担当

ケア前後の手洗い（通常と同じ）

MRワクチン接種前の児童との直接の濃厚接触を避ける

※母親も無症状のCRIのケースは把握することが不可能であり、特別な予防策は講じえない（成人と同じ）

「保育・教育関係者自身の健康を守る」 「子どもや保護者の感染源とならないために」



現在の状況

- 養成課程において感染症対策としての予防接種や、専門職としての責任を学ぶ機会がない・少ない
- 実習や入職時、定期検診で、ワクチンや感染症について確認や接種をするように責任者からガイダンスがない
- リスクや責任の説明がない
- 施設・学校によってバラバラであり、質が担保されていない

改善のための提案

- 保育士養成のカリキュラムに必須項目として位置付ける
- 保育士または幼稚園教諭及び教員養成校に入学時の確認、実習前の予防接種歴の確認の義務化
- 養成校授業の必須科目に、感染予防のカリキュラムを入れる
- 資格受験の際、麻疹、風疹、流行性耳下腺炎、水痘、B型肝炎のワクチン、DTP/DT接種の必須化

【注意】 保育士資格は筆記・実技試験のみでも取得可能であり、保育現場における感染症対策の実際や健康管理を含めた職業倫理を学ぶ機会に乏しい

なぜ、現在できていないのか？



課題

- 設置者や経営者の危機感不足
- 職員として採用するときに、経営側が費用を負担したくない。
- 予防接種が受験や進学を妨げるという懸念
- 任意接種での費用負担
- 接種歴・罹患歴が不明で動機づけがない

改善のための提案

- 国や自治体、教育委員会等を通じた周知徹底
- 入学時や入職時に接種歴の確認や接種勧奨を行う
- 定期接種の期間延長措置（キャッチアップ）を行う
- 予防接種台帳（データベース）をもとに早めのアナウンスを行う

CRS児、いつから集団生活OK？



- 生後3カ月以降の検査で、1カ月以上の間隔をあけて、連続して2回風疹ウイルスが検出されないことが確認できれば、周りの人への感染性はないと考えられる（CRS診療マニュアルより抜粋）



- 難聴・発達障がいなどの療育は？
- 保護者の財政的な問題に対しては？
- ウイルス排泄があると分かっているCRS児にだけこの対応をするのは適当か？

対策

風疹流行の影響をふまえた新たな資料を作成する



仮「風疹流行の影響を受けた乳幼児の受け入れ・支援ガイド」



<具体的に必要な取り組み>

一般保育施設、病児保育施設、小規模保育、保育ママ向けの資料作成と啓発

入所前の保護者への説明資料、実習生・職員向けの啓発資料

※同時に、先天性風疹と診断がついた児や保護者のみを過剰に感染管理し人権問題や発達の疎外につながらないような注意も必要。

すでにある資料に実効性をもたせる



「保育所における感染症対策ガイドライン」

1. 感染症とは

(2) 保育所における感染症とは

4 “また、保育所で流行する多くの感染症は、典型的な症状を呈して医師から感染症と診断された場合のみならず、たとえ感染していても全く症状のない不顕性感染例や、症状が軽微であるために医療機関受診にまでは至らない軽症例も少なからず存在している可能性が高いことを理解した上で感染対策に取り組んでいくことが重要となります。それは、園児だけではなく職員も同様です。”

実効性のあるものにするために必要なこと

- 1) 職員に向けてのガイドラインの作成と普及
- 2) 現場における責任者や支援システムの明確化
- 3) 入所前の保護者への説明資料、実習生・職員向けの啓発資料

※風疹だけでなく、他のワクチンで予防できる感染症の対策もふまえた取り組みが重要

※園医・校医の先生方との連携が必要

曝露のハイリスク・感染源リスクとなりうる専門職と 感染症対策



■教員が東南アジアで麻疹になり同僚や家族、待合室で拡大したケース

「タイから輸入されたD8型による麻疹集団発生事例－宮崎県」 (IASR Vol. 34 p. 33-34: 2013年2月号)

<http://www.nih.go.jp/niid/ja/iasr-sp/2248-related-articles/related-articles-396/3166-dj3965.html>

■有効回答が2033(教員・保育士)の調査で126人が就職後に風疹を発症。

「札幌市立学校教員の就職後における風疹罹患の観察」

<http://ci.nii.ac.jp/naid/130000999225>

■保育園でのB型肝炎 集団感染

<http://www.kansen.pref.saga.jp/kisya/kisya/hb/houkoku160805.htm>

■「学校教職員における麻疹の罹患歴, 接種歴, 抗体保有状況, および効果的ワクチン接種方式の検討」(2011年5月 日本感染症学会誌)

<http://journal.kansensho.or.jp/Disp?pdf=0850030263.pdf>



④ 保育所職員の予防接種

小児の病気と考えられがちであった麻しん、風しん、水痘、流行性耳下腺炎に成人が罹患することも稀ではなくなってきたことから、**保育所職員も**、ワクチン未接種で未罹患の場合は、必要回数**の2回、ワクチンを受けて自分自身を感染から守り、子どもたちへの感染伝播を予防することが重要**です。

⑤ 予防接種歴・罹患歴記録の重要性

保育所での感染症対策を考える上で最も重要な点として、**職員と子どもたちの予防接種歴・罹患歴の把握と記録の保管**があります。

『保育所保育指針、解説書』



第5章 健康及び安全

1 子どもの健康支援

2 環境及び衛生管理並びに安全管理

⑤職員の衛生知識の向上と手順の周知徹底

職員は②の「衛生管理」に記載されている事項を十分に踏まえ、自己の健康管理に十分に留意し、特に感染症が疑われる場合には速やかに報告し、自らが感染源とならないように適切に対処することが必要です。

私たちの願い

もう誰にも あんな思いをしてほしくない...
風疹によって心も身体も傷つけられていく
ワクチン接種でみなくてすむ悪夢を
どうか

一人でも多くの人が行動を起こして風疹を
なくしてほしいと願うばかりです。

～妊娠初期(14週)に風疹にかかってしまったお母さんの思い～

風疹の流行を繰り返さないために、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。